

## 安全のため必ず守ってください

ヒーター給湯モードのときは



**警告**



強制

**発電リモコンの場合は、必ず熱源機の運転スイッチをOFFにする**  
OFFにしない場合、高温の温水が出てやけどをするおそれがあります。



強制

**温水のご使用中は、温水の温度低下に注意する**  
ご使用状況や機器の状態等によっては、温水のご使用中に突然温度が下がることがあります。

こんなときは



**注意**



高温注意

**断水時には給水・給湯栓を開けない**

発電ユニットより低い位置にある給湯栓は設定温度以上のお湯が出る場合があります。



高温注意

**水抜き時タンク排水配管には触れない**

場合によっては熱いお湯が排出されることがあり、やけどの原因になることがあります。



高温注意

**水抜き時はエア抜き栓の正面に身体を置かない**

場合によってはお湯が飛び出すことがあり、やけどの原因になることがあります。

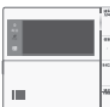
お客さまがお買い上げになられたリモコン記載ページをご覧ください。



リモコンA (138-N\*\*\*シリーズ (138-N434は除く))



リモコンB (138-T\*\*\*シリーズ)



リモコンC (138-R\*\*\*シリーズ)



発電リモコン (138-N434)

# こんなときは

## ガスの供給が途絶えたときに温水を使いたいときは（ヒーター給湯モード）

ヒーター給湯モードを実施すると、発電ユニット内部の電気ヒーターを用いて貯湯タンクの水を昇温し、最高40℃の温水を使用することが出来ます。ただし、水温が低い場合等、環境条件によっては40℃に達しない場合があります。

### ■ヒーター給湯モードについて

- ヒーター給湯モードで温水の昇温完了するまでの目安時間、温水の温度、使用可能な目安量は下表のとおりです

季節	夏	春、秋	冬
昇温完了までの時間	約8時間	約17時間	約24時間
温水の温度	約40℃	約40℃	約33℃
使用可能な目安量	約80L	約50L	約50L

※設置環境により、上記の値と異なる場合があります。

### ●ヒーター給湯モードを使用するためには

- ・断水時は昇温は可能ですが温水の使用ができません。断水していないことを確認してください。
- ・ご使用前に放熱器排気口の目張りを実施ください（詳細は、「■放熱器排気口の目張り処理」を参照願います）。  
実施しないと温水が貯まるのに時間が掛かったり、温水が貯まらないおそれがあります。
- ・使用可能な条件が成立していないとヒーター給湯モードを選択するボタンが表示されません。発電が停止しており、発電禁止設定、給湯スイッチがOFF（リモコンの場合は切）でも表示されないときは、貯湯タンクの洗浄（14ページ参照）を実施してください。

### ●その他ご注意ください

#### ◆リモコンのスイッチを操作したとき

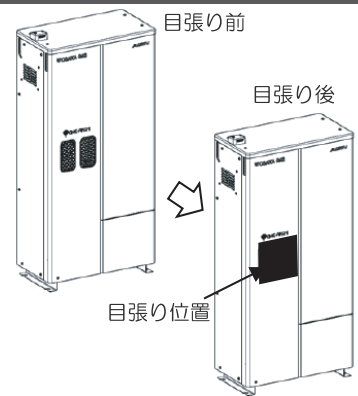
- ・リモコンA、リモコンBの場合  
ヒーター給湯モード中にリモコンの「ON/OFF」スイッチをONにするとヒーター給湯モードが解除されます。
- ・リモコンCの場合  
ヒーター給湯モード中はリモコンの「入/切」スイッチを受付ません。
- ・発電リモコンの場合  
必ず熱源機の運転スイッチを「OFF」にしてください。「OFF」にしない場合、高温の温水が出てやけどをするおそれがあります。
- ・ヒーター給湯モード中に停電が発生した場合、停電復旧後には通常の状態に戻りますので、温水を使用する場合は再度ヒーター給湯モードを実施ください。
- ・昇温完了前は温水の温度が低いことがあります。
- ・昇温完了前に温水を使用すると、昇温完了までの時間が長くなります。
- ・温水を使用開始した後は、可能な限り間隔を空けずにご使用ください。間隔が空くと温水の温度が下がります。
- ・温水を使い切るとヒーター給湯モードは自動解除されます。\* 続けて温水を使いたい場合は再度ヒーター給湯モードを実施してください。
- ・ガスの供給が復帰し、ヒーター給湯モードを解除した直後に温水をご使用される場合、高温の温水が出湯されるおそれがありますのでご注意ください。

※ヒーター給湯モードにて昇温完了後に温水を使用した場合、設置環境によっては温水がなくなっただけから表示が出るまでに10分以上かかる場合があります。

# こんなときは

## ■放熱器排気口の目張り処理

- ご使用前に放熱器排気口の目張りを実施ください。実施しないと温水が貯まるのに時間が掛かったり、温水が貯まらないおそれがあります。
- ガスの供給が復旧し、通常の発電運転に戻る際は目張り（マグネットシート等）を必ずはずしてください。発電出力を抑制したり、発電を停止する場合（リモコンにエラーコード[03F07]、[95F00]を表示することがあります。）があります。
- ご使用開始時にお渡りするマグネットシートにて目張りが可能です。お手元にマグネットシートがない場合は、ご家庭の物で目張りを実施下さい。



### <ヒーター給湯モードの操作手順>

手順	リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
①	発電禁止にする（6、7、8、9ページ参照）			
②	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、「(ON/OFF)スイッチ部のLEDランプを消します。」液晶画面部をタッチします。	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、「(ON/OFF)スイッチ部のLEDランプを消します。」液晶画面部をタッチします。	発電禁止表示を確認後リモコンの「入/切」スイッチを「切」にします。「(入/切)スイッチ部のLEDランプを消します。」	発電禁止表示を確認後リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチします。 ※必ず熱源機の運転スイッチを「OFF」にしてください。
③	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 	「メニュー」ボタンを押します。 	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 
④	[発電]をタッチします。 	[発電]をタッチします。 	/	[発電]をタッチします。 
⑤	[ヒーター給湯]をタッチします。  [ヒーター給湯]が表示されない場合※1	[ヒーター給湯モード]をタッチします。  [ヒーター給湯モード]が表示されない場合※1	▲または▼で[ヒーター給湯]を選択し▶または「決定」を押します。  [ヒーター給湯]が表示されない場合※1	[ヒーター給湯]をタッチします。  [ヒーター給湯]が表示されない場合※1
⑥	放熱器排気口の目張りを実施してください（詳細は、「■放熱器排気口の目張り処理」を参照願います）。			
⑦	[する]をタッチします。  ヒーター給湯モードにすると、発電ユニットのヒーターでお湯を作ることができます。 ◎スイッチをONにするとヒーター給湯モードは解除されます。	[OFF]をタッチします。  ヒーター給湯モードにする場合は、ONにしてください。	▲を押し、「ON」を選択し「決定」を押します。 	[する]をタッチします。  ヒーター給湯モードにすると、発電ユニットのヒーターでお湯を作ることができます。

※1使用可能な条件が成立していないとヒーター給湯モードを選択するボタンが表示されません。  
発電が停止しており、発電禁止設定、給湯スイッチがOFF（リモコンCの場合は切）でも表示されないときは、貯湯タンクの洗浄（14ページ参照）を実施してください。

# こんなときは

手順	リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
⑧	<p>放熱器排気口が目張りされていることを確認後[OK]をタッチします。</p>	<p>放熱器排気口が目張りされていることを確認後[はい]をタッチします。</p>	<p>放熱器排気口が目張りされていることを確認後「決定」を押します。</p>	<p>放熱器排気口が目張りされていることを確認後[OK]をタッチします。</p>
⑨	<p>ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。</p>	<p>ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。</p>	<p>沸きあげ中</p> <p>タンク 沸き上げ中</p> <p>交互表示</p> <p>沸きあげ完了</p> <p>タンク 保温中</p>	<p>ヒーター給湯モードマークが点滅を始めます。点灯に変わると昇温完了です。</p>

- ・温水の使用時は、手で温度を確認してから使用してください。
- ・温水を使用開始した後は間隔をあげずにご使用ください。

## ■ご使用中に以下の画面になった場合

リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
<p>お湯がなくなりました。発電ユニットの取扱説明書に従ってご対応ください。</p>	<p>取扱説明書確認</p> <p>お湯がなくなりました。発電ユニットの取扱説明書に従ってご対応ください。</p>	<p>お湯が無くなりました。発電ユニットの取扱説明書に従ってご対応ください。</p>	<p>お湯がなくなりました。発電ユニットの取扱説明書に従ってご対応ください。</p>

温水がなくなりました。続けて温水をご使用になる場合は、「ヒーター給湯モードの操作手順」の手順③から実施してください。温水をご使用にならない場合は、放熱器排気口の目張りを取り外します。

リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
<p>必ず発電ユニット取扱説明書のヒーター給湯モードの章に従ってご対応ください。</p>	<p>取扱説明書確認</p> <p>必ず発電ユニット取扱説明書のヒーター給湯モードの章に従ってご対応ください。</p>	<p>ヒーター給湯モード中のため運転「入」および発電禁止の解除は実施できません。</p>	<p>必ず発電ユニット取扱説明書のヒーター給湯モードの章に従ってご対応ください。</p>

以下の操作をするとこの画面になります。

- ・リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」にした（発電リモコンを除く）
- ・メニュー画面より発電禁止を解除した

リモコンA、リモコンB、発電リモコンの場合

ヒーター給湯モードを再開したい場合は、[OK]または[はい]をタッチ後「ヒーター給湯モードの操作手順」を手順①から実施してください。温水をご使用にならない場合は、放熱器排気口の目張りを取り外します。

リモコンCの場合

「ヒーター給湯モードを解除する手順」を実施願います。

リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
<p>ヒーター給湯モードの継続ができなくなりました。故障内容を確認してください。</p>	<p>ヒーター給湯モード継続不可</p> <p>ヒーター給湯モードの継続ができなくなりました。故障内容を確認してください。</p>	<p>ヒーター給湯モードの継続ができなくなりました。故障内容を確認してください。</p>	<p>ヒーター給湯モードの継続ができなくなりました。故障内容を確認してください。</p>

以下の場合、この画面を表示しヒーター給湯モードが自動的に解除されます。

- ・故障が発生した場合（詳細は、「エラーコード表」（22ページ）を参照願います）
- ・故障対応中の場合
- ・タンクリフレッシュが入った場合

- ・断水時にタンク排水バルブから、貯湯タンクの水を雑用水として使用した場合

リモコン表示に従い[OK]、[はい]、「決定」をタッチ後、表示されているエラーの処置を行ってください（詳細は、「エラー発生時の処置方法について」（20ページ）を参照願います）。

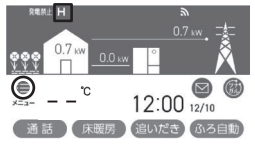


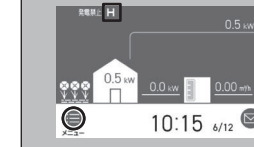
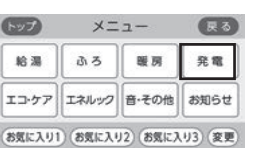


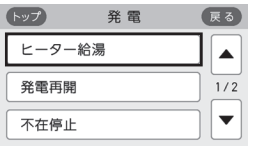

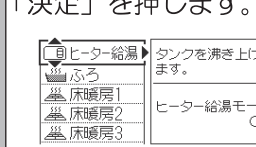
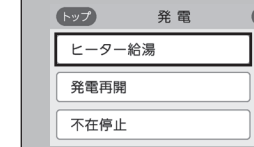
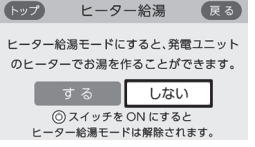
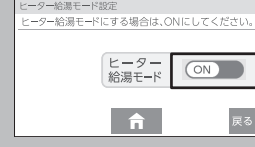
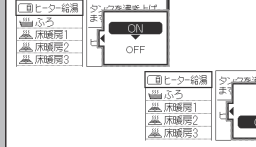
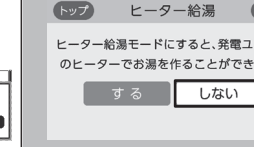
# こんなときは

## ■ヒーター給湯モードを終了する

### ●ヒーター給湯モードを解除する手順

ヒーター給湯モードの表示中にヒーター給湯モードを解除したい場合は、下記手順を実施してください。

※ ヒーター給湯モードの表示がされていないときでも、①は必ず実施願います。

	リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
①	放熱器排気口の目張り（マグネットシート等）を取り外してください。発電出力を抑制したり、発電を停止したりする場合（リモコンにエラーコード[03F07]、[95F00]を表示することがあります。）があります。目張りの取り外しを行わなかったことが原因による対応は、有償となります。			
②	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 	「メニュー」ボタンを押します。 	トップ画面から[メニュー]をタッチします。 
③	[発電]をタッチします。 	[発電]をタッチします。 	/	[発電]をタッチします。 
④	[ヒーター給湯]をタッチします。 	[ヒーター給湯モード]をタッチします。 	▲または▼で[ヒーター給湯]を選択し▶または「決定」を押します。 	[ヒーター給湯]をタッチします。 
⑤	[しない]をタッチします。 	[ON]をタッチします。 	▼を押し、「OFF」を選択し「決定」を押します。 	[しない]をタッチします。 
⑥	トップ画面に戻り、ヒーター給湯モードマークが消灯していることを確認してください。			

## ■ヒーター給湯モード終了後、発電運転を再開する

	リモコンA	リモコンB	リモコンC	発電リモコン
①	放熱器排気口の目張りが取り外されていることを確認します。 ※発電出力を抑制したり、発電を停止する場合があります。目張りの取り外しを行わなかった場合の故障修理は、有償となります。			
②	メニュー画面より発電禁止を解除します（10、11、12、13ページ参照）。			

# 発電を止める

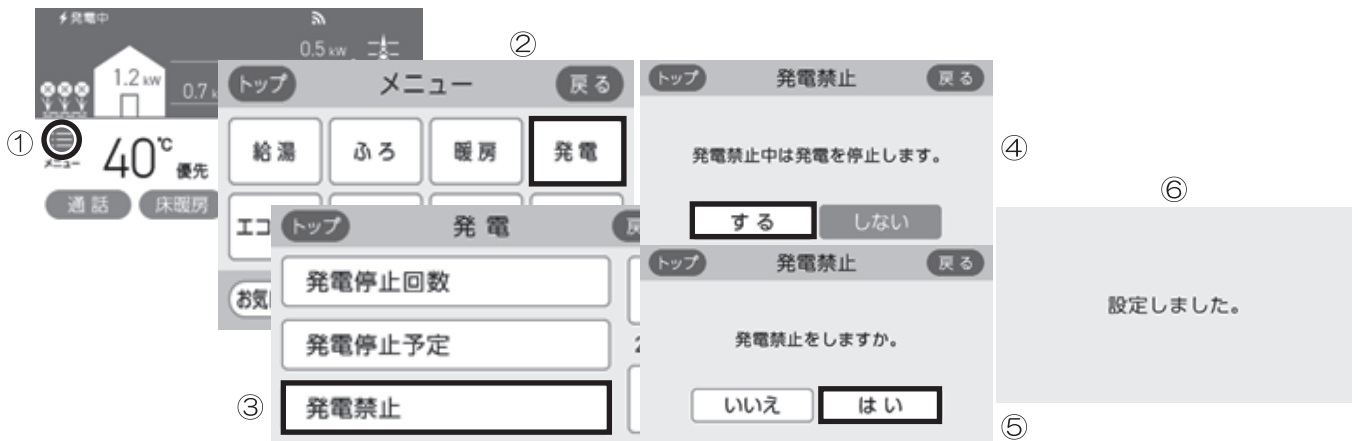
機器を保護するために発電停止の動作（「停止中」表示）を約3～5時間行ってから停止します（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります）。

停止動作中に起動操作を行った場合停止動作完了後、起動します。

※お客様の手動操作により、頻繁に起動操作・停止操作（発電禁止・不在停止）を繰り返すと故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外になる場合があります。機器の耐久性維持のため、停止操作のご使用は10回/年までを目安とし、不在停止操作は10日以上不在にされる場合にご使用ください。

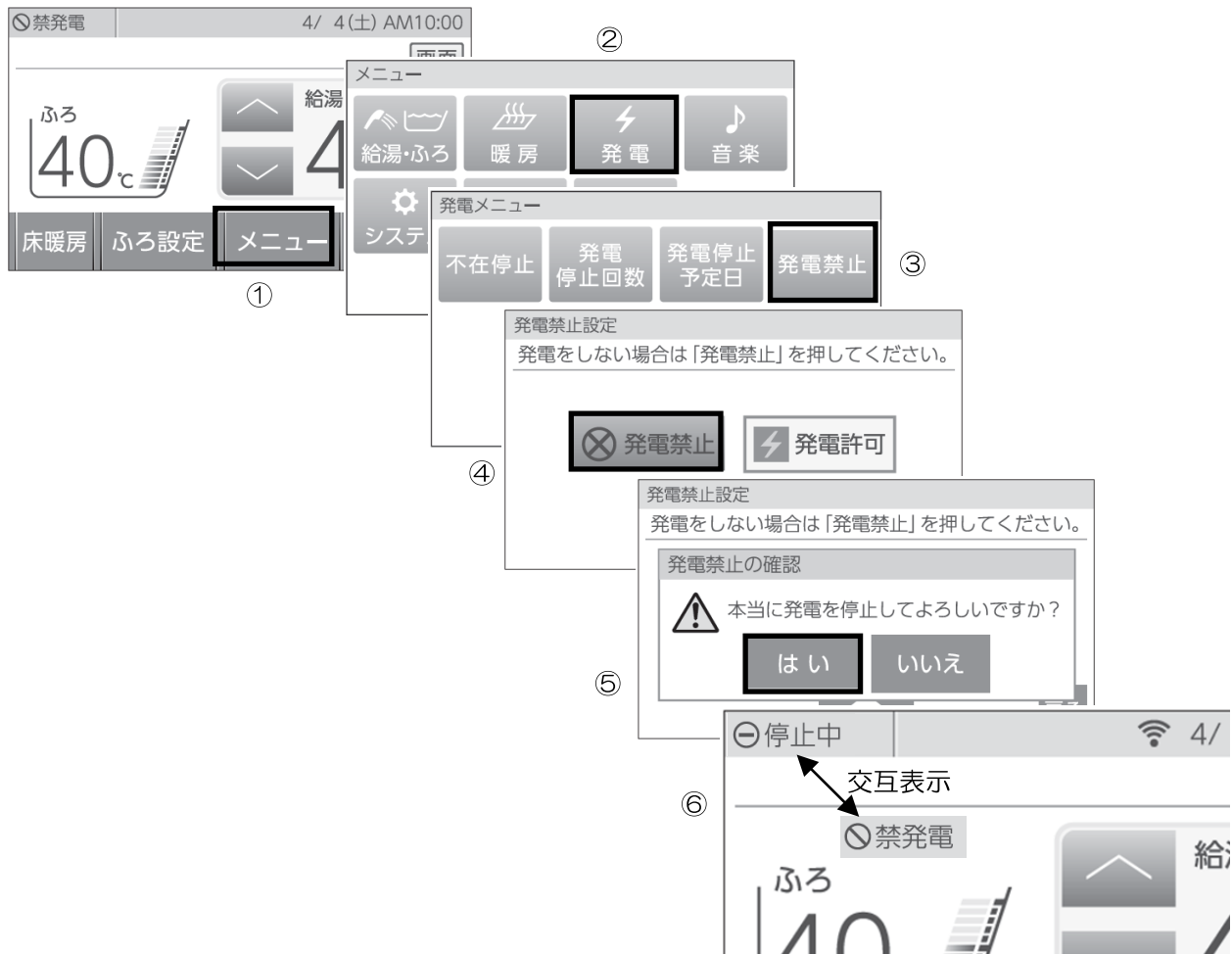
## ■ 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいとき（発電禁止）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止画面より[する]をタッチします。
- ⑤ 発電禁止画面より[はい]をタッチします。
- ⑥ [設定しました。]と表示後、④の画面に戻ります。



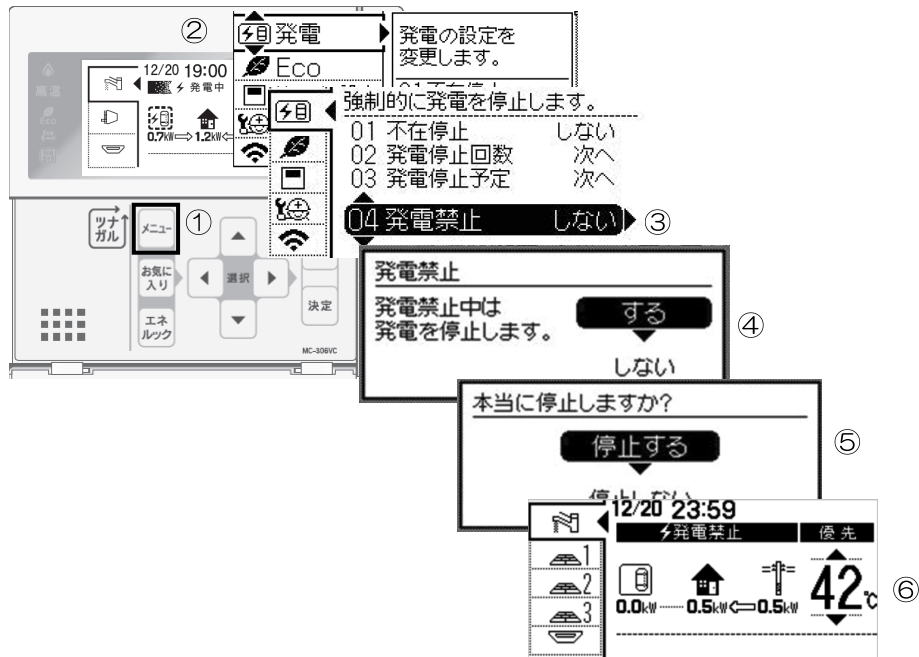
## ■ 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいとき（発電禁止）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電メニュー画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止設定画面より[発電禁止]をタッチします。
- ⑤ 発電禁止の確認画面より[はい]をタッチします。
- ⑥ リモコントップ画面の左上に[停止中]と[禁発電]が交互に表示され、約3～5時間後に[禁発電]の表示になります。



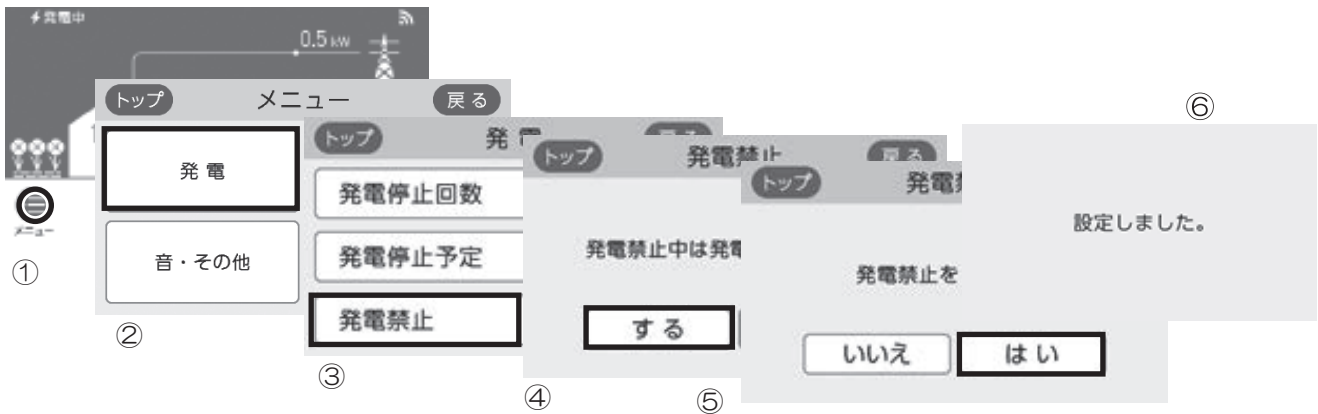
## ■機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいとき（発電禁止）します

- ①「メニュー」ボタンを押します。
- ②▲または▼で[発電]を選択し▶または「決定」を押します。
- ③▲または▼で[発電禁止]を選択し▶または「決定」を押します。
- ④▲を押し、「する」を選択して「決定」を押します。
- ⑤▲を押し、「停止する」を選択して「決定」を押します。
- ⑥リモコントップ画面に[発電禁止]と表示され、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。



## ■ 機器の水抜きをするときなど、強制的に発電を停止させたいとき（発電禁止）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止画面より[する]をタッチします。
- ⑤ 発電禁止画面より[はい]をタッチします。
- ⑥ [設定しました。]と表示後④の画面に戻り、約3～5時間後に発電停止表示は消灯します。

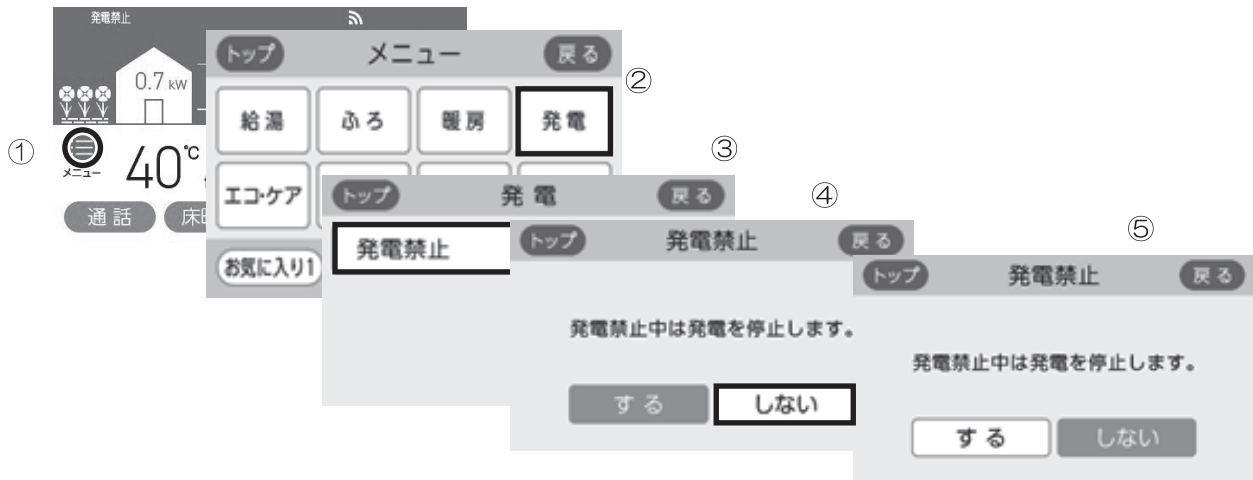


# 発電をする

※ 停止動作中に発電操作を行った場合は、停止動作完了後に起動します。  
起動には約4～5時間かかります。（時間は気温や発電ユニットの状態によって異なります。）

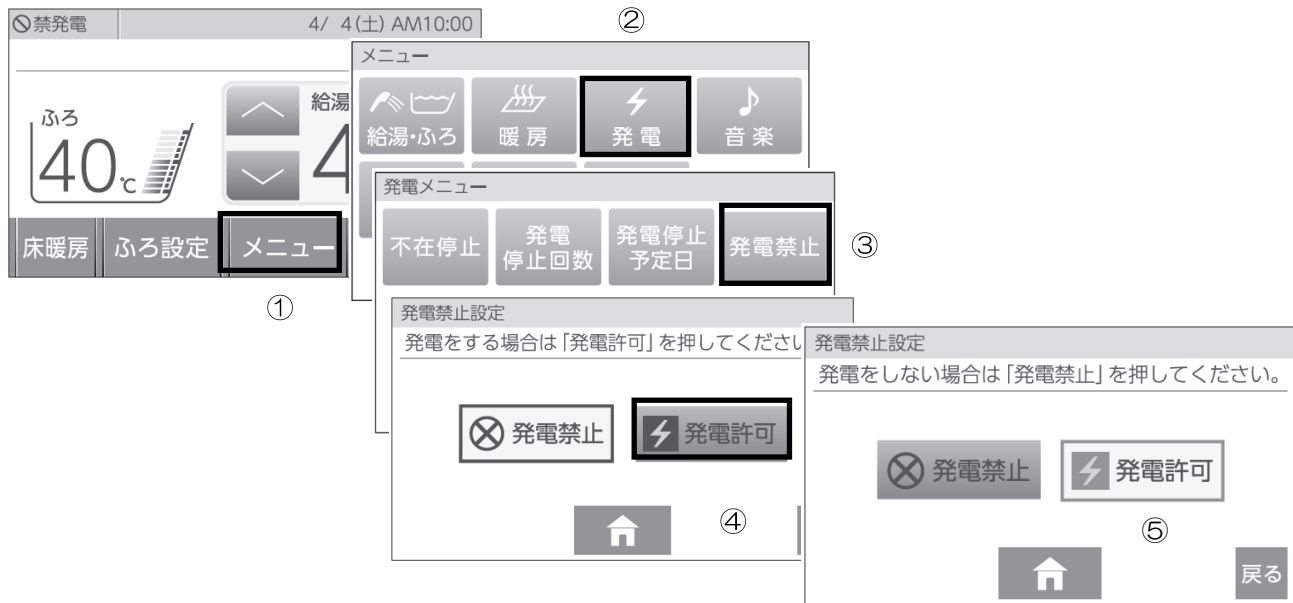
## ■ 発電禁止を解除し発電をする（「発電禁止」（6ページ）で停止させた場合）

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
  - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
  - ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
  - ④ 発電禁止画面より[しない]をタッチします。
  - ⑤ 発電禁止画面が[しない]に変わります。
- ※ トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください



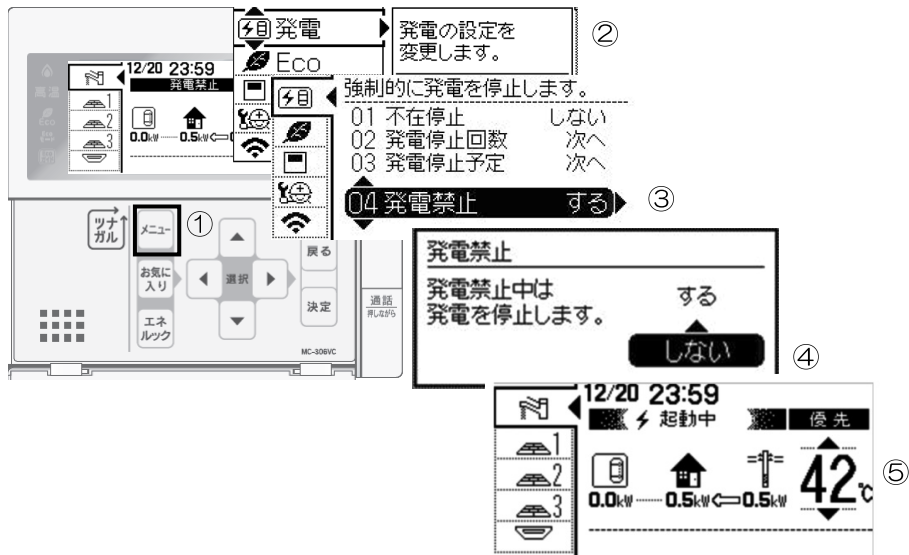
## ■ 発電禁止を解除し発電をする (発電禁止 (7ページ) で停止させた場合)

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
- ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
- ③ 発電メニュー画面より[発電禁止]をタッチします。
- ④ 発電禁止画面より[発電許可]をタッチします。
- ⑤ 表示が[発電許可]に変わり、発電ユニットが起動をはじめます。



## ■ 発電禁止を解除し発電をする (発電禁止 (8ページ) で停止させた場合)

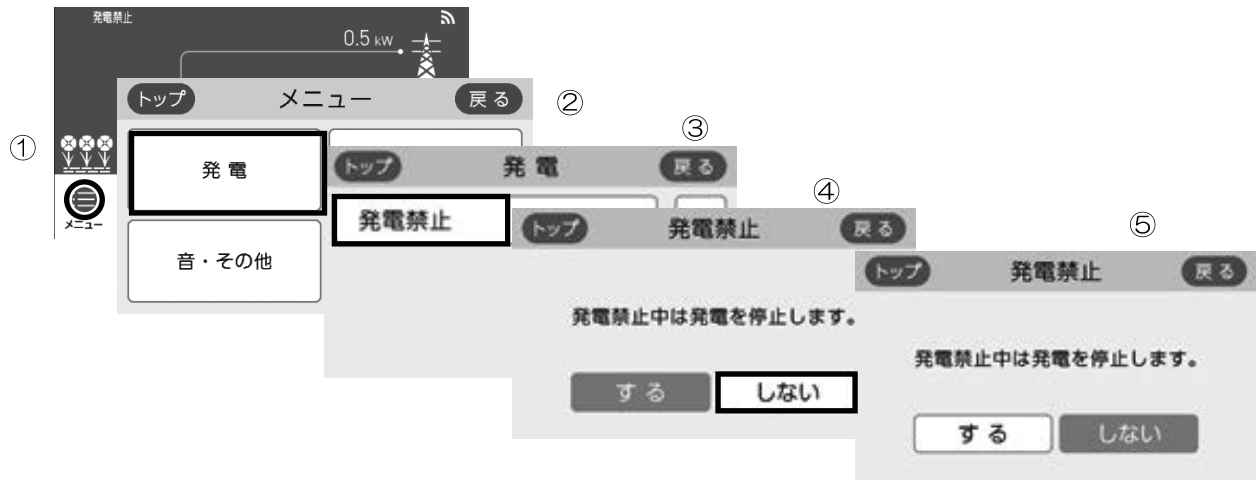
- ① 「メニュー」 ボタンを押します。
  - ② ▲ または ▼ で [発電] を選択し ▶ または 「決定」 を押します。
  - ③ ▲ または ▼ で [発電禁止] を選択し ▶ または 「決定」 を押します。
  - ④ ▼ を押し、「しない」 を選択して 「決定」 を押します。
  - ⑤ トップ画面の発電状況表示部が [起動中] に変わり、発電ユニットが起動をはじめます。
- ※ 発電ユニットが停止動作完了後でなかった場合は、表示は [停止中] と表示します。この場合は停止動作完了後に [起動中] に切り替わります。



リモコン( ) 発電

## ■ 発電禁止を解除し発電をする (発電禁止 (9ページ) で停止させた場合)

- ① トップ画面より[メニュー]をタッチします。
  - ② メニュー画面より[発電]をタッチします。
  - ③ 発電画面より[発電禁止]をタッチします。
  - ④ 発電禁止画面より [しない] をタッチします。
  - ⑤ 発電禁止画面が[しない]に変わります。
- ※トップ画面に、戻すには「トップ」を押してください。



# 貯湯タンクの洗浄をする

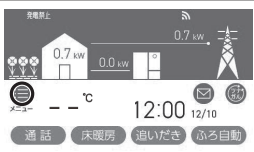

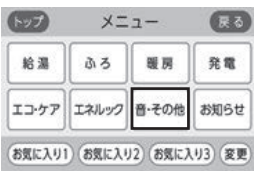

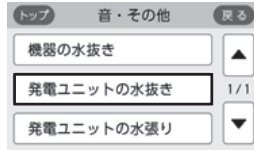

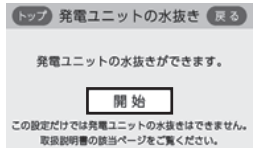

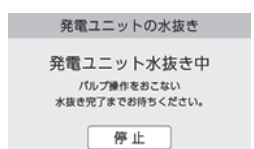

※この操作開始後水張り完了までは、熱源機を使用することはできません。

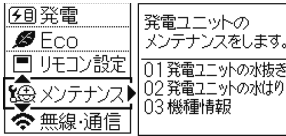
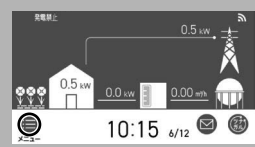
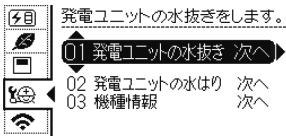
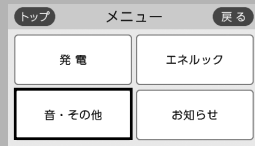
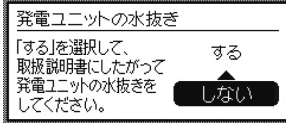
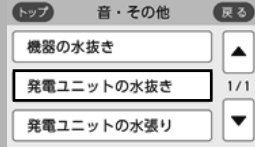
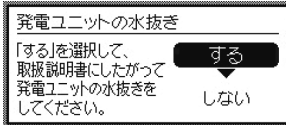
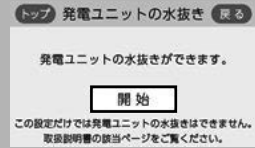
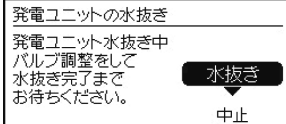
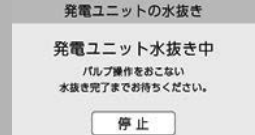
※この水抜きでは手順の途中でリモコンによる水抜き停止ボタンを操作しますが、その後も手順書に沿ってエア抜き栓、排水バルブ操作を行ってください。

## ■水抜き手順

※安全の為、水抜き操作の前に「安全のため必ず守ってください」(1ページ)を参照ください。

※ やけど予防のため、リモコン操作によるタンク内水温の冷却(手順①~⑥)を行ってから、バルブ操作による水抜き(手順⑦~⑪)を行ってください。

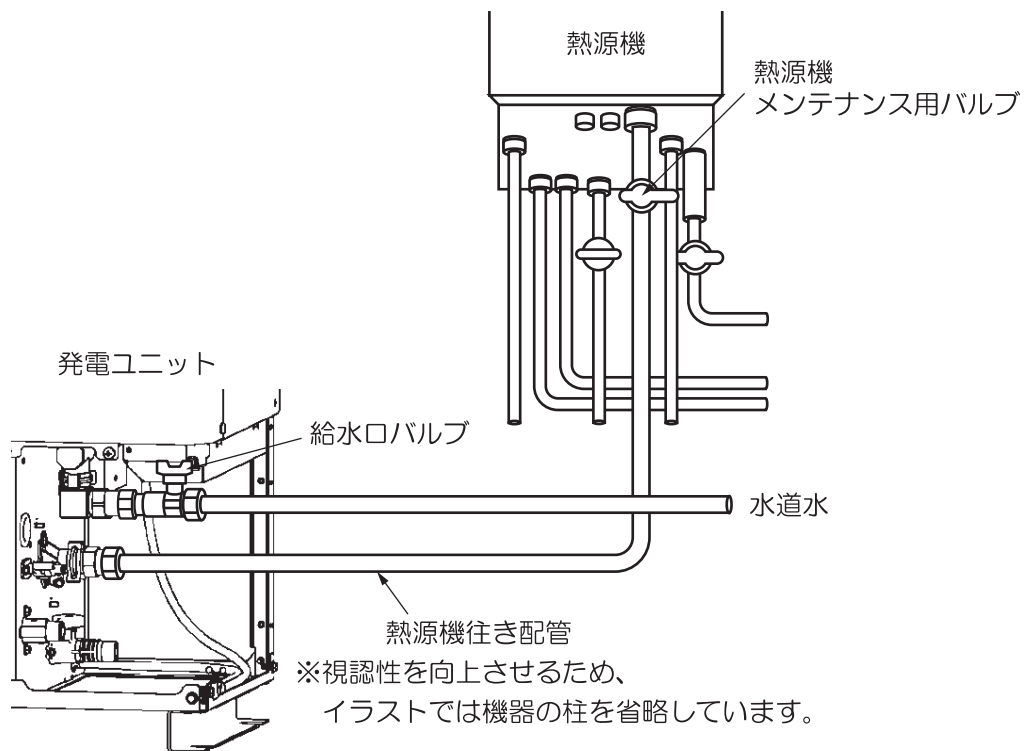
手順	リモコンA	リモコンB
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、(「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。)液晶画面部をタッチします。	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、(「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。)液晶画面部をタッチします。
②	トップ画面より[メニュー]をタッチします。 	トップ画面より[メニュー]をタッチします。 
③	メニュー画面より[音・その他]をタッチします。 	メニュー画面より[メンテナンス]をタッチします。 
④	音・その他画面より[発電ユニットの水抜き]をタッチします。 	メンテナンス画面より[発電ユニット水抜き]をタッチします。 
⑤	[開始]をタッチします。 	[開始]をタッチします。 
⑥	タンク内水温が下がりましたので、「フロントR小パネルの取り外し方法」(19ページ)を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をします。 	タンク内水温が下がりましたので、「フロントR小パネルの取り外し方法」(19ページ)を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、⑦のバルブ操作をします。 

手順	リモコンC	発電リモコン
①	リモコンの「運転入/切」スイッチを「切」にし、 （「運転入/切」スイッチ部のLEDランプを消す。） 「メニュー」ボタンを押します。	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、 または液晶画面部をタッチします。
②	▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または 「決定」を押します。 	トップ画面より[メ ニュー]をタッチしま す。 
③	▲または▼で[発電ユ ニットの水抜き]を選択 しまたは「決定」を押 します。 	メニュー画面より[音・ その他]をタッチしま す。 
④	▲を押します。 	音・その他画面より[発 電ユニットの水抜き]を タッチします。 
⑤	「決定」を押します。 	[開始]をタッチします。 
⑥	タンク内水温が下がり ましたので、「フロント R小パネルの取り外し方 法」（19ページ）を 参照し、発電ユニット のフロントR小パネルを 外した後、⑦のバルブ操 作をします。 	タンク内水温が下がり ましたので、「フロント R小パネルの取り外し方 法」（19ページ）を 参照し、発電ユニット のフロントR小パネルを 外した後、⑦のバルブ 操作をします。 

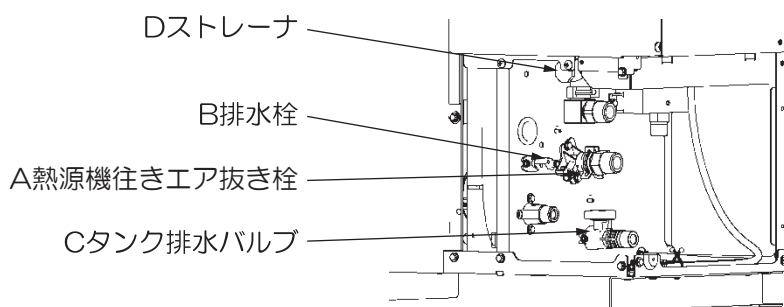
## 共通

⑦ 下記バルブの操作をしてください。

- 給水口バルブを閉じます。
- 熱源機行き配管途中の熱源機メンテナンス用バルブを閉じます。



- Cタンク排水バルブをゆっくりと開けます。





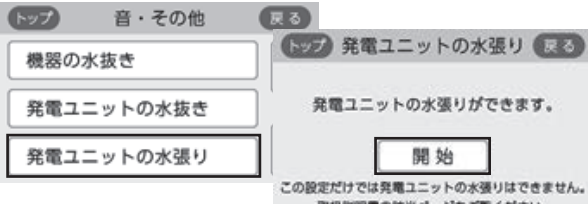
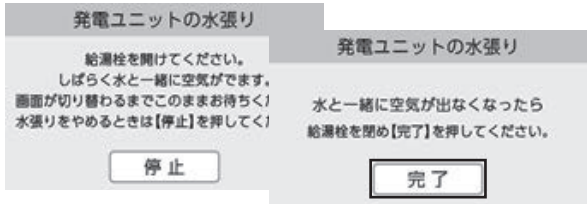

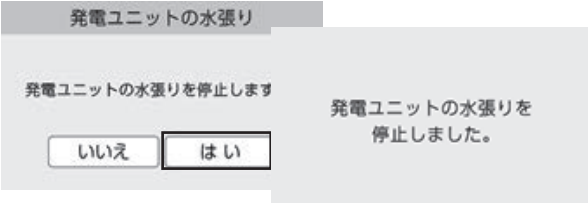
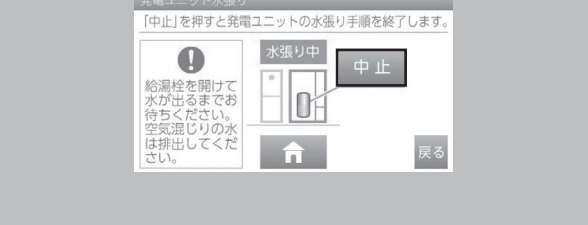
※視認性を向上させるため、イラストでは機器の柱を省略しています。

- ⑧ リモコンの画面がトップ画面に移行したら、A熱源機行きエア抜き栓、B排水栓を反時計回りに回転させてから手前に軽く引いて開けます。  
 ※ 60分経過してもトップ画面に移行しない場合は、⑥の[停止],[中止],[決定]のいずれか(上表参照)をタッチして水抜きを停止し、Cのバルブまたは栓が開いていることを確認後、再度①より実施してください。
- ⑨ 給水接続口のDストレーナをマイナスドライバーまたはコインで反時計回りに回転させて取り外します。
- ⑩ Dストレーナの目詰まりを掃除し、元の場所に取り付けます。
- ⑪ タンク排水配管およびA熱源機行きエア抜き栓より湯(水)が出なくなったら、A熱源機行きエア抜き栓とB排水栓を閉め、Cタンク排水バルブを閉じます。

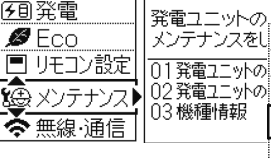

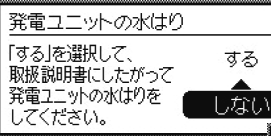
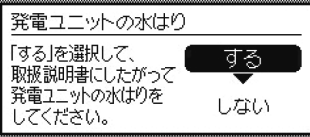
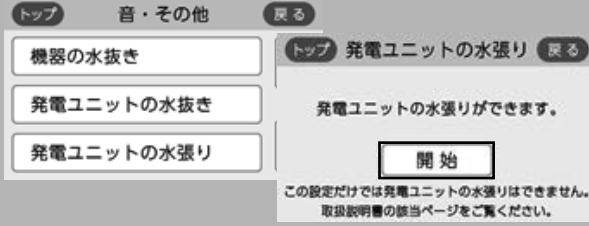
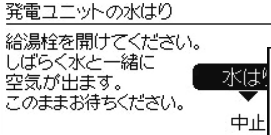
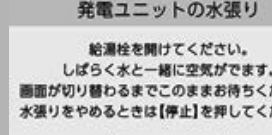
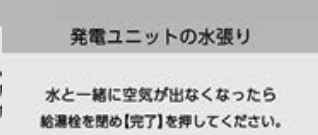
# 貯湯タンクの洗浄をする

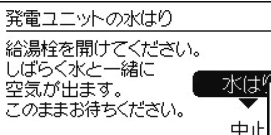
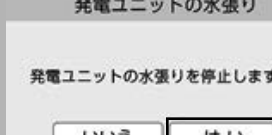
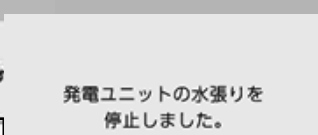
※エラー [03F06][82F01]等で水張りをする場合は、下記の手順を実施してください。

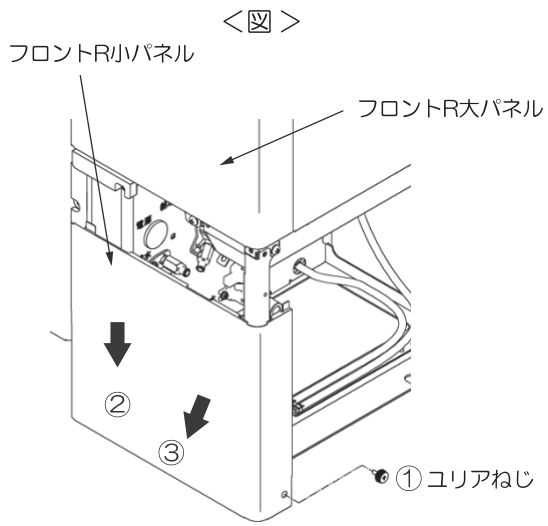
## ■水張り手順

手順	リモコンA	リモコンB
①	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 （「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。） 液晶画面部をタッチします。	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「OFF」にし、 （「ON/OFF」スイッチ部のLEDランプを消す。） 液晶画面部をタッチします。
②	トップ画面より[メニュー]→[音・その他]をタッチします。 	トップ画面より[メニュー]→[メンテナンス]をタッチします。 
③	音・その他画面より[発電ユニットの水張り]→[開始]をタッチします。 	メンテナンス画面より[発電ユニットの水張り]→[開始]をタッチします。 
④	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開けます。（16ページ参照）	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開けます。（16ページ参照）
⑤	屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、[完了]をタッチします。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。 	屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、[確認]をタッチします。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。 
⑥	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けます。	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けます。
途中で停止する場合	屋内の給湯栓を閉めてから、⑤画面の[停止]をタッチし、下画面の[はい]をタッチします。 ※[いいえ]をタッチすると前の画面に戻ります。 	屋内の給湯栓を閉めてから、[中止]をタッチします。 

※水張りを途中で停止した場合は、再度手順①から実施してください。

手順	リモコンC	発電リモコン
①	リモコンの「運転入/切」スイッチを「切」にし、（「運転入/切」スイッチ部のLEDランプを消す。）「メニュー」ボタンを押します。	リモコンの「ON/OFF」スイッチを「ON」、または液晶画面部をタッチします。
②	▲または▼で[メンテナンス]を選択し▶または「決定」を押し、その後▲または▼で[発電ユニットの水はり]を選択し▶または「決定」を押しします。 	トップ画面より[メニュー]→[音・その他]をタッチします。 
③	▲を押して「決定」を押します。  	音・その他画面より[発電ユニットの水張り]→[開始]をタッチします。 
④	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを外した後、発電ユニットの給水口バルブ・熱源機メンテナンス用バルブを開ける。（16ページ参照）	
⑤	屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、「決定」を押します。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。 	熱源機の給湯スイッチを「OFF」にし、屋内の給湯栓を開けます。給湯栓から空気が出なくなったら、給湯栓を閉めてから、[完了]をタッチします。 ※給湯栓・・・屋内の給湯蛇口です。  
⑥	「フロントR小パネルの取り外し方法」（19ページ）を参照し、発電ユニットのフロントR小パネルを取り付けます。	

途中で停止する場合	屋内の給湯栓を閉めてから、▼で[中止]を選択し「決定」を押します。 	屋内の給湯栓を閉めてから、⑤画面の[停止]をタッチし、下画面で[はい]をタッチします。 ※[いいえ]ボタンを押すと前の画面に戻ります。  
-----------	--	--



### ■フロントR小パネルの取り外し方法

- ① フロントR小パネル右側面下のユリアねじを外します。
- ② フロントR小パネルを下に数mmスライドさせます。
- ③ フロントR小パネルの下端を手前に寄せながら下方方向にスライドさせて取り外します。

### ■フロントR小パネルの取り付け方法

- (A) フレームとフロントR大パネルの隙間に、フロントR小パネルの爪を差し込みます。
- (B) フロントR小パネルを持ち上げます。
- (C) ユリアねじでフロントR小パネルを固定します。

# エラー発生時の処置方法

## お願い

- お客さま自身で部品の点検・調整はしないでください。
- 機器の異常に気付いたときは、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。

### ■エラー発生時の処置方法について

- リモコンにエラーコード[ \*\*F\*\* ]を表示します。  
エラーコードの表示が[ \*\*F\*\* ]ではない場合は熱源機側の不具合です。熱源機の取扱説明書を参照してください。
- リモコンに次ページのエラーコードが表示された場合、処置方法に従い処置を行ってください。
- 20、21ページ以外のエラーコードについては、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。

### ■エラーリセット（異常解除）の方法

- リモコンA、リモコンB、発電リモコンの場合  
「ON/OFF」スイッチを一度「OFF」にしてから、再度押して「ON」にします。
- リモコンCの場合  
「入/切」スイッチを一度「切」にしてから、再度押して「入」にします。

※エラー発報時は停止工程に約10～12時間かかります。  
エラーをリセットしても、停止工程が終了するまで再起動しません。

表示	故障内容	原因	処置方法
01900	ガスマイコンメーター内管漏えい警報防止（後付構成では発生しないエラーです。）	機器の異常ではありません。発電ユニットが「ガスマイコンメーター確認マーク」を表示して停止中に、熱源機のガス使用が継続し、ガスマイコンメーターがガス漏れの有無を確認できなかった場合に表示します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 全てのガス機器（暖房を含む）を連続で70分間以上停止してください。<sup>*1</sup>ただし、機器が凍結予防動作などを行った場合、この表示が消えないことがあります。その場合はさらに連続で70分間以上ガス機器を停止してください。作業を実施しても表示が消えない場合は、販売店またはもよりの大阪ガスに連絡してください。</li> <li>• 床暖房の長時間使用により頻繁に[01900]が表示される場合は、給湯や浴室暖房乾燥機などガス機器を使用しない時間帯に、床暖房リモコン等のタイマー設定により床暖房を70分以上停止する時間帯を設定ください。</li> </ul>
01F00	• 通常停止回数警告	起動停止の回数が多すぎます。	このまま使用を継続されますと、故障の原因になるおそれがあり、保証の対象外となる場合がありますので、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
01F01	• シャットダウン回数警告		
03F00	• ホットモジュール起動許可条件成立待ち	発電ユニットが高温であるため起動できません。	冷却されるまでお待ちください。（約10～12時間（時間は気温によって異なります。））

\*1 70分間は以下の表示を目安としてください。

- リモコンAの場合  → 
- リモコンBの場合  → 
- リモコンCの場合  → 

# エラー発生時の処置方法

表示	故障内容	原因	処置方法
03F06	• 水抜き状態時起動警告	水抜き、水張りが中止された状態で発電ユニットの起動操作が実施された。	発電禁止操作を行い、エラーをリセットし、水張りを実施後、発電ユニットを起動してください。参照ページは下記となります。 リモコンA (6、20、17、10ページ)、 リモコンB (7、20、17、11ページ)、 リモコンC (8、20、17、12ページ) 発電リモコン (9、20、17、13ページ)
05F00	• メンテナンス時間超過	定期交換部品の交換が必要です。	販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
05F03	• 可燃ガスセンサ時間超過		
05F04	• 可燃ガスセンサ時間超過		
08F00	• 自立運転保護動作	電力使用量が少ないため、保護停止しています。	給湯および電力使用量が350W以上必要です。
10F00	• 可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	発電ユニット内部でガス漏れが発生した場合、もしくは発電ユニット外部から自動車の排気ガスなどの可燃性ガスが流入した場合に、ガスを検知して停止しています。	ガス供給を遮断していますが念のため発電ユニット専用ガス栓を閉じて、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
10F10	• 可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常		
10F01	• 可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常		
10F11	• 可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常		
82F01	• 排熱回収水出口温度 高温異常	断水している可能性があります。	発電禁止操作を実施後に、エラーをリセット(20ページ参照)してください。 給水されていることを確認後、発電ユニットの水張り操作を実施してください。水張り完了後、「発電禁止からの再開」を実施してください。再発する場合は、販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
A0F00	• 原燃料供給圧低または原燃料流量計故障	ガス栓が閉まっているか、ガスマイコンメーターが遮断されています。	ガス栓が閉まっている場合は、ガス栓を開けてください。 ガスマイコンメーターが遮断している場合は、ガスマイコンメーターを復帰させてから、リモコンでエラーをリセットしてください。 操作方法がわからない場合はガス供給事業者までご連絡ください。
E0F00	• 商用電流検出異常	購入電力の検出に異常がある可能性があります。	販売店またはもよりの大阪ガスにご連絡ください。
E4F00	• 商用電流検出異常		
F9F00	• 逆潮流検出		

# エラー表示

発電ユニットに不具合が生じたとき、熱源機のリモコンにエラーコード[\* \* F \* \*]が表示されます。

## 発電ユニットのエラーコード一覧 (1 / 2)

表示	故障内容	表示	故障内容
01F00	通常停止回数警告	47F02	還流ガス温度低温異常
01F01	シャットダウン回数警告	50F01	停止時原燃料流量異常
01F02	省エネ性低下検出	52F02	エア流量異常
02F00	通常停止回数警告 (起動禁止)	53F00	給湯混合弁原点復帰異常
02F01	シャットダウン回数警告 (起動禁止)	55F00	可燃ガスセンサ1異常
03F00	ホットモジュール起動許可条件成立待ち	55F01	可燃ガスセンサ2異常
03F01	スタック保護待機状態	55F10	可燃ガスセンサ1異常
03F06	水抜き状態時起動警告	55F11	可燃ガスセンサ2異常
03F07	改質水水量保護動作中	57F01	伝導度上限異常または水位センサ短絡故障
03F08	エア流量計フィルタ詰まり解消動作	59F00	燃焼触媒故障
05F00	メンテナンス時間超過1	60F00	原燃料流量偏差異常
05F03	可燃ガスセンサ時間超過	60F01	原燃料ガスプロアDUTY上限異常
05F04	可燃ガスセンサ時間超過	61F00	エア流量偏差異常
08F00	自立運転保護動作	61F01	エアプロア故障
08F02	水不足による保護停止	63F00	フロートスイッチ断線故障
08F03	自立時過負荷検出	63F01	フロートスイッチ短絡故障
10F00	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	64F00	排熱回収水ポンプ故障
10F01	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	66F00	改質水補給異常
10F10	可燃ガスセンサ1 ガス漏れ異常	67F00	水位異常または水位センサ短絡故障
10F11	可燃ガスセンサ2 ガス漏れ異常	67F01	水位センサ断線故障
11F00	着火異常	67F04	改質水ライン水張り異常
12F00	燃焼部#1失火異常	68F00	原燃料入口電磁弁駆動回路異常
12F01	燃焼部#2失火異常	68F01	原燃料入口電磁弁異常
12F04	失火による出力異常	70F00	インバータ通信異常
12F05	失火継続異常	70F01	インバータ連系パラメータ受信異常
15F00	起動異常	72F01	給湯器ラインまたはインバータ異常
17F00	温度ヒューズ作動	72F03	自立出力リレー固着警告
19F00	漏電・過電流ブレーカ保護作動	72F04	自立出力リレー固着異常
20F00	冷却ファン故障	72F05	給湯器電源リレー系統側固着警告
30F00	改質入口温度センサ故障	72F06	給湯器電源リレー系統側固着異常
30F01	改質入口温度高温異常	74F00	フラッシュメモリ故障
30F02	改質入口温度低温異常	76F00	セット構成給湯器通信異常
30F03	改質入口温度センサ不定故障	76F01	後付構成用発電連係リモコン通信異常
42F00	モジュール温度センサ故障	76F02	リモコンアンマッチ
42F01	モジュール温度高温異常	76F03	リモコン電源電圧低下異常
42F02	モジュール温度低温異常	77F00	改質水ポンプ駆動回路異常
42F04	モジュール温度センサ不定故障	77F02	制御装置可燃ガスセンサ増幅回路異常
43F00	燃焼排ガス温度センサ故障	77F03	制御装置LPガスセンサ増幅回路異常
43F01	燃焼排ガス温度高温異常	77F04	制御装置パラメータ破損異常
43F02	燃焼排ガス温度低温異常	77F05	FCメンテデータ差異異常
47F00	還流ガス温度センサ故障	77F06	FCパラメータ差異異常
		77F08	原燃料流量計通信異常

# エラー表示

## 発電ユニットのエラーコード一覧 (2 / 2)

表示	故障内容
77F09	カソード エア流量計通信異常
77F10	原燃料流量計測値フリーズ異常
77F11	カソード エア流量計測値フリーズ異常
78F15	直流ヒータ過電流警告
79F00	コントローラスイッチ部短絡故障
80F00	排熱回収水入口温度センサ故障
80F01	排熱回収水入口温度高温異常
82F00	排熱回収水出口温度センサ故障
82F01	排熱回収水出口温度高温異常
82F02	排熱回収水出口温度低温異常
82F04	排気熱交換器故障または排熱回収水出口温度センサ不定故障
83F00	補機室上部温度センサ故障
83F01	補機室上部温度高温異常
85F00	水道水温度センサ故障
86F00	混合湯温度センサ故障
86F01	混合湯温度高温異常
86F02	水道水温度センサ／混合湯温度センサ精度異常
88F00	自立ヒータ温度センサ故障
88F01	自立ヒータ上部温度高温異常
88F02	自立ヒータ上部温度高温警告
93F00	停止時間タイムアウト
95F00	改質水タンク水量不足またはフロートスイッチ故障
A0F00	原燃料供給圧低下または原燃料流量計故障
B0F00	ホットモジュール高温状態検出
B0F02	改質触媒高温状態
B1F02	水張り時エア抜き警告
B1F03	排熱回収水ライン水なし異常
B4F01	点火ヒータ連続通電時間オーバー
B4F03	排熱回収水ライン凍結防止ヒータ空焚き異常
B6F00	パソコン通信異常
B8F00	改質水タンク水なし状態検出
C0F00	スタックトータル電圧低下
C0F02	コンバータ過電流警告
C0F03	直流リンク過電圧警告
C2F00	スタックトータル電圧未確立
C4F00	直流不足電圧検出
C5F01	インバータDC/DC部温度高温異常
C5F02	インバータDC/AC部温度高温異常

表示	故障内容
C5F03	インバータ低温警告
C5F04	インバータ高温異常
C6F01	EEPROM異常
C7F00	ハードウェア故障
C7F01	インバータ温度センサ故障
C7F02	連系リレー故障
C7F04	24V補機電源電圧上限異常
C7F05	24V補機電源電圧下限異常
C7F06	24V補機電源通電警告
C7F07	2.5V補機電源電圧上限異常
C7F08	2.5V補機電源電圧下限異常
C7F12	5V補機電源電圧上限異常
C7F13	5V補機電源電圧下限異常
C7F14	スタック電流通信異常
C7F15	商用電流回路異常
C7F17	インバータソフトウェアバージョン異常
C7F23	自立周波数不確定異常
C7F25	自立構成異常
C7F26	自立発電電圧不安定異常
C7F27	自立発電電圧不安定警告
C7F28	自立出力準備中シーケンス異常
C9F00	インバータ入力過電流
E0F00	商用電流検出異常 (誤配線)
E1F00	CT自動補正不能
E1F01	CT誤取り付け警告
E1F02	CT自動検出時電力不足異常
E4F00	商用電流検出異常
E7F00	N相過電流異常
F0F00	系統過電圧警告
F1F00	系統不足電圧警告
F2F00	系統周波数上昇警告
F3F00	系統周波数下降警告
F4F00	単独運転受動方式検出
F5F00	単独運転能動方式検出
F6F00	系統瞬時過電圧
F7F00	直流過電圧検出
F7F01	リンク不足電圧検出
F7F02	リンク過電圧検出
F7F03	出力電流直流分流出検出
F7F05	インバータ側通信異常
F7F06	瞬時過電流
F9F00	逆潮流検出
O1900	マイコンメータ内管漏えい警報防止

大阪ガス株式会社

大阪府中央区平野町 4-1-2  
TEL フリーダイヤル 0120-000-555  
(お客さまセンター)